

令和7年度第2回横浜市障害者施策推進協議会

日時：令和7年10月31日（金曜日）午後2時から午後4時まで

場所：横浜州市庁舎18階みなと1・2・3会議室

《次第》

1 開会

2 健康福祉局長あいさつ

3 報告事項

- (1) 第5期横浜市障害者プランにかかるグループインタビュー等の進捗状況について
- (2) 精神障害者保健福祉手帳の郵送交付について
- (3) 第2期横浜市依存症対策地域支援計画の策定について
- (4) よこはまテレビ・プッシュのご案内について

4 その他

【配付資料一覧】

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 資料1 | 第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の進捗状況について |
| 資料2-1 | 精神障害者保健福祉手帳の郵送交付について |
| 資料2-2 | 精神障害者保健福祉手帳の郵送交付についてチラシ |
| 資料3 | 第2期横浜市依存症対策地域支援計画の策定について |
| 資料4-1 | よこはまテレビ・プッシュのご案内について |
| 資料4-2 | よこはまテレビ・プッシュのご案内についてチラシ |

令和7 年度第2 回横浜市障害者施策推進協議会座席表

令和7 年10月31日（ 金曜日）午後2 時から午後4 時まで
横浜市庁舎みなと1・2・3

出入口	石津 住宅政策課担当課長								
	入江 交通局総務課長								
	田中 医療援助課担当課長								
記録席	原 企画調整課長								
	稲垣 地域支援課長								
	金井 特別支援教育課長								
出入口	松村 企画課長								
	高島 障害児福祉保健課長								
	飯野 障害自立支援課長								
傍聴席	大津 障害施設サービス課長								
	中尾 緊急対策課担当係長								
	中村 障害施策推進課長								
事務局席	秋山 精神保健福祉課長								
	片山 障害福祉保健部長								
	小西 こころの健康相談センター長								
記録席	佐藤 健康福祉局長								
	福嶋 こども青少年局長								
	柴山 こども福祉保健部担当部長								
出入口	西野 学校教育企画部インクルーシブ教育担当部長								
	財津 健康推進課担当課長								
	中村 障害施策推進課長								

マイク	飯山 文子委員	6	マイク	佐伯 隆史委員	通訳者
	清水 武彦委員	5		樋渡 明美委員	
	久保田 政宏委員	4		阿部 浩之委員	
マイク	小川 菜江子委員	3		小野 孝俊委員	
	港 裕樹委員	2		加藤 伸輔委員	
	介助者	1		村山 美保子委員	
マイク	奈良崎 真弓委員	6		介助者	
	松田 隆和委員	5		永田 孝委員	
	介助者	4		須山 優江委員	
マイク	大橋 由昌委員	3			
	介助者	2			
	渋谷 治巳委員	1			
マイク					

よこはまししょうがいしゃしざくすいしんきようぎかい
横浜市障害者施策推進協議会 委員名簿（令和8年7月13日まで）

	氏名	所属
1	阿部 浩之	社会福祉法人型地域活動ホーム連絡会（地域活動ホームガッツ・ビーと西所長）
2	飯山 文子	横浜知的障害関連施設協議会 副会長
3	内嶋 順一	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 担当理事
4	小川 菜江子	横浜南部就労支援センター 所長
5	大橋 由昌	特定非営利活動法人横浜市視覚障害者福祉協会 会長、公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 副理事長
6	小野 孝俊	横浜市腎友会 事務局長、公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 理事
7	加藤 伸輔	NPO法人メンタルヘルス共創拠点ピアウエル 代表理事
8	金井 緑	一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会 副会長
9	菅野 義矩	特定非営利活動法人横浜市精神障害者家族連合会 副理事長
10	久保田 政宏	日本労働組合総連合会神奈川県連合会横浜地域連合 事務局長
11	佐伯 隆史	一般社団法人神奈川県精神科病院協会 理事
12	渋谷 治巳	横浜市障害者地域作業所連絡会 副会長
13	清水 武彦	神奈川県立瀬谷支援学校校長
14	清水 龍男	横浜市中心身障害児者を守る会連盟 代表幹事
15	鈴木 敏彦	淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授、地域連携センター長
16	須山 優江	横浜市中途失聴・難聴者協会会長、公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 理事長
17	永田 孝	横浜市グループホーム連絡会 入居者部会部会長
18	奈良崎 真弓	にじいろでGO! 会長
19	二宮 威重	一般社団法人横浜市歯科医師会 常務理事
20	樋渡 明美	特定非営利活動法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会 共同代表
21	福本 秀	横浜公共職業安定所 所長
22	松田 隆和	横浜市肢体障害者福祉協会 会長、公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 理事
23	水野 千鶴	一般社団法人横浜市医師会 常任理事
24	港 裕樹	横浜市精神障害者生活支援センター連絡会（泉区生活支援センター芽生え施設長）
25	村山 美保子	横浜ピアスタッフ協会（Y P S）副会長

令和7年度 横浜市障害者施策推進協議会事務局名簿

くぶん 区分	きよくめい 局名	ほしよめい 補職名	しめい 氏名
じむきよく 事務局	けんこうふくしきよく 健康福祉局	けんこうふくしきよくちやう 健康福祉局長	さとう たいすけ 佐藤 泰輔
		けんこうすいしんがむたんとうぶちやう いりようきよくそうむふいむたんとうぶちやう 健康推進部医務担当部長(医療局総務部医務担当部長)	きたがわ ひろなお 北川 寛直
		しょうがいふくしほけんがむたん 障害福祉保健部長	かたやま ながや 片山 久也
		けんこうふくしきよみんとうぶちやう 健康福祉局担当部長(こころの健康相談センター長)	こにし じゅん 小西 潤
		けんこうすいしんがむたん 健康推進部長	といだ みちこ 樋田 美智子
		しょうがいしきくすいしんがむたん 障害施策推進課長	なかむら つよし 中村 剛志
		せいしんほけんふくしがむたん 精神保健福祉課長	あきやま なおゆき 秋山 直之
		しょうがいじりつしえんがむたん 障害自立支援課長	いいの まさお 飯野 正夫
		しょうがいしきつ かちやう 障害施設サービス課長	おおつ ごお 大津 豪
		きかくがむたん 企画課長	まつむら たけや 松村 健也
		ふくしほけんがむたん 福祉保健課長	こんどう たかし 近藤 崇
		ふくしほけんがむたん 福祉保健課福祉保健センター担当課長	くどう けいこ 工藤 恵子
		ちいきしえんがむたん 地域支援課長	いながき じゅんこ 稲垣 純子
		けんこうすいしんがむたん 健康推進課担当課長	ざいつ ながし 財津 崇
		いりようえんじよかむたん 医療援助課担当課長	たなか やすゆき 田中 康之
	こども青少年局	こども青少年局長	ふくしま けいや 福嶋 誠也
		こども福祉保健部担当部長	しばやま かずひこ 柴山 一彦
		しょうがいふくしほけんがむたん 障害児福祉保健課長	たかしま ともこ 高島 友子
		きかくちやうせいがむたん 企画調整課長	はら ひろたけ 原 弘岳
	きやういくいんかいじむきよく 教育委員会事務局	がっこうきやういくがむたん 学校教育企画部インクルーシブ教育担当部長	にしの ひとし 西野 均
		とくべつしえんきやういくがむたん 特別支援教育課長	かない くにあき 金井 国明
かんけいよく 関係局	せいざけいさくきよく 政策経営局	けいさくせんりやくきよく 経営戦略課基本戦略推進担当課長	たなか こうへい 田中 浩平
	けんちきよく 建築局	じゆうたいきかくがむたん 住宅政策課担当課長	いしず けいすけ 石津 啓介
	こうつうきよく 交通局	そうむがむたん 総務課長	いりえようじろう 入江洋二郎

しむたんとどう 事務担当	けんこうしきよく 健康福祉局	しょうがいしきずいしんか しさくちようせいかりちよう 障害施策推進課施設調整係長	かわばた はやと 川端 勇飛	
		しょうがいしきずいしんかさいはいくすいしんたんとちようかりちよう 障害施策推進課計画推進担当係長	とみた みちこ 富田 倫子	
		しょうがいしきずいしんか してい たんとちようかりちよう 障害施策推進課指定・システム担当係長	よねやま のぞみ 米山 のぞみ	
		しょうがいしきずいしんかたんとちようかりちよう 障害施策推進課担当係長	ねぎし 聡 根岸 聡	
		しょうがいしきずいしんかききょうせいしやかいとうすいしんたんとちようかりちよう 障害施策推進課共生社会等推進担当係長	おはた ゆみ こ 小幡 由美子	
		しょうがいしきずいしんかそうだんしえんすいしんかかりちよう 障害施策推進課相談支援推進係長	わたなべ ひろみ 渡辺 弥美	
		しょうがいしきずいしんかたんとちようかりちよう 障害施策推進課担当係長	まつもと まゆ 松本 萌	
		しょうがいしきずいしんかくぶんになんていかりちよう 障害施策推進課区分認定係長	うめつ あやこ 梅津 亜矢子	
		せいしんほけんふくしかせいしんほけんふくしかかりちよう 精神保健福祉課精神保健福祉係長	かつき まさ樹 香月 正樹	
		せいしんほけんふくしかたんとちようかりちよう 精神保健福祉課担当係長	くぼ ひろ樹 久保 裕樹	
		せいしんほけんふくしかききゅうきゅういりようかりちよう 精神保健福祉課救急医療係長	まつし まさ樹 松島 崇将	
		しょうがいじりつしえんかふくしききゅうふかりちよう 障害自立支援課福祉給付係長	うめ のりこ 宇野 紘子	
		しょうがいじりつしえんかききょうく たんとちようかりちよう 障害自立支援課居宅サービス担当係長	うめだ ひさよし 梅田 久嘉	
		しょうがいじりつしえんかいどうしえんかかりちよう 障害自立支援課移動支援係長	やまもと いづみ 山本 いづみ	
		しょうがいじりつしえんかしゃかいさんかすいしんかかりちよう 障害自立支援課社会参加推進係長	ふじもり ゆうじ 藤森 祐次	
		しょうがいじりつしえんかしきゅうろうしえんかかりちよう 障害自立支援課就労支援係長	おおの さとる 大野 悟	
		しょうがいしせつ かしせつかんりかりちよう 障害施設サービス課施設管理係長	さとう ひろかず 佐藤 央一	
		しょうがいしせつ かせいびすいしんたんとちようかりちよう 障害施設サービス課整備推進担当係長	はたした ようすけ 畑下 陽介	
		しょうがいしせつ か たんとちようかりちよう 障害施設サービス課担当係長	ながと やすひろ 長戸 泰弘	
		しょうがいしせつ かしきしせつしえんかかりちよう 障害施設サービス課地域施設支援係長	おいまつ たいち 老松 太一	
		しょうがいしせつ かせせつとうんえいしえんかかりちよう 障害施設サービス課施設等運営支援係長	のぐち けいたろう 野口 慶太郎	
		しょうがいしせつ かききょうどうせいかつえんじよたんとちようかりちよう 障害施設サービス課共同生活援助担当係長	いけだ りゅうすけ 池田 隆介	
		こころの健康相談センター相談援助係長	いしかわ めぐみ 石川 めぐみ	
		こころの健康相談センター依存症等対策担当係長	まきの かおり 牧野 香織	
		こころの健康相談センター担当係長	よしだ ひろみつ 吉田 裕光	
		きかく か たんとちようかりちよう 企画課担当係長	さかい りゅうすけ 坂井 良輔	
こども青少年局	せいしやうきよく 子ども青少年局	しょうがいじふくしほけんかたんとちようかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	かわかみ ともあき 川上 智昭	
		しょうがいじふくしほけんかせいほけんちようかりちよう 障害児福祉保健課整備担当係長	さかい ちづき 坂井 千月	
		しょうがいじふくしほけんかたんとちようかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	すがわら まさのり 菅原 政則	
		しょうがいじふくしほけんかせいほけんちようかりちよう 障害児福祉保健課整備担当係長	すみよし たかひと 住吉 孝仁	
		しょうがいじふくしほけんかたんとちようかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	ながみ とおる 永見 徹	
		しょうがいじふくしほけんかたんとちようかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	やまだ かずき 山田 一貴	
		きかくちようせいしかたんとちようかりちよう 企画調整課担当係長	ごとう ゆうすけ 後藤 佑介	
		ききょういくいんかいじむきよく 教育委員会事務局	しまだ けいいち 嶋田 慶一	
		とくべつしえんききょういくかたんとちようかりちよう 特別支援教育課担当係長	のなか だいすけ 野中 大介	
		とくべつしえんききょういくかたんとちようかりちよう 特別支援教育課担当係長	おかだ ゆきこ 岡田 由起子	
かんさきよく 関係局	せいさくけいさく 政策経営局	けいせいせんりやめ たんとちようかりちよう 経営戦略課担当係長	おかだ ゆきこ 岡田 由起子	
		けんちくきよく 建築局	じゅうたいきく たんとちようかりちよう 住宅政策課担当係長	てしろもり さとる 手代森 悟
		こうつうきよく 交通局	そうむか しよむかりちよう 総務課庶務係長	たぬま しやう 田沼 庄
		そうむきよく 総務局	きんきゅうたいさくかたんとちようかりちよう 緊急対策課担当係長	なかお りゅうじ 中尾 祐次

だい き しょうがいしゃ さくてい 第5期障害者プラン策定にかかる グループインタビュー等の進捗状況について

1 しゅし 趣旨

「第5期横浜市障害者プラン（令和9年度から令和14年度）」の策定に向けて行ったグループインタビューの実施状況について御報告します。

また、当事者策定検討会及び当事者向けアンケートの実施方法についても御説明します。

2 グループインタビューについて

6月から9月にかけて、当事者や家族、障害関係団体等に対して、現状やニーズを把握するためのインタビューを行いました。

実施回数：計37回

<内訳>当事者：18回、家族：11回、支援者：10回

※複数の団体や、当事者・支援者等で実施した回がありましたので、実施回数と内訳の合計は一致しません。

3 当事者策定検討会について

主に以下の内容について、当事者同士で意見交換や検討を行います。

第5期プランの構成や内容について御意見をいただきます。

(1) 第1回：令和7年11月22日（土曜日）10時～12時

ア グループインタビューで出た意見を参考に

「6年後の理想の社会・暮らしを叶えるために必要な事や課題」について

イ 第5期プランの構成や概要の案

ウ 当事者向けアンケートの案

(2) 第2回：令和8年2月21日（土曜日）10時～12時（予定）

障害者プランの骨子（要点）について（予定）

(3) 参加者について

36人程度（身体障害児・者12人、知的障害児・者12人、精神障害児・者12人）

年代ごと、(①10歳未満・10・20代、②30・40・50代、③60代以上の3つに分け、

①～③×2グループ、計6グループに分けて実施します。

4 当事者向けアンケートについて

令和8年1月頃に、本市の各障害者手帳所持者の10 % 程度（約18,000人）の方たち
に対して、無作為抽出によるアンケートを実施します。

なお、質問項目については、当事者策定検討会・横浜市障害者施策推進協議会・
障害者施策検討部会で頂戴した御意見等を参考にしたうえで作成します。

5 今後のスケジュールについて

令和7年11月	当事者策定検討会	：当事者向けアンケートの内容検討等
令和7年12月	障害者施策検討部会	：当事者向けアンケートの内容検討等
令和8年1月	当事者向けアンケートの実施	
令和8年2月	障害者施策検討部会	：当事者向けアンケートの速報の報告等
	当事者策定検討会	：当事者向けアンケートの速報の報告等
令和8年3月	障害者施策推進協議会	：当事者向けアンケートの速報の報告等

だい き しょうがいしゃ さくてい かか じっしさいちらん
第5期障害者プラン策定に係るグループインタビュー実施先一覧

しゅべつ 種別	だんたいめいしょう 団体名称
1 とうじしゃ 当事者	よこはましした いしょうがいしゃふくしきょうかい 横浜市肢体障害者福祉協会
2 とうじしゃ 当事者	よこはまししかくしょうがいしゃふくしきょうかい 横浜市視覚障害者福祉協会
3 とうじしゃ 当事者	よこはましちやうかくしょうがいしゃきょうかい 横浜市聴覚障害者協会
4 とうじしゃ 当事者	よこはましくるまいす かい 横浜市車椅子の会
5 とうじしゃ 当事者	よこはましのうせい しゃきょうかい 横浜市脳性マヒ者協会
6 とうじしゃ 当事者	よこはましじんゆうかい 横浜市腎友会
7 とうじしゃ 当事者	よこはまし きょうかい 横浜市オストミー協会
8 とうじしゃ 当事者	よこはましちゅうとつちよう なんちようしゃきょうかい 横浜市中途失聴・難聴者協会
9 とうじしゃ 当事者	ちい きかつどうしえん まなび 地域活動支援センター まなび (よこはまししょうがいしゃちい きさぎょうじょれんらくかい (横浜市障害者地域作業所連絡会))
10 とうじしゃ 当事者	なんぶしゅうろうしえん 南部就労支援センター
11 とうじしゃ 当事者	さいとうクリニック デイケア ※求 職 者
12 とうじしゃ 当事者	Y P S よこはま 横浜ピアスタッフ協会
13 とうじしゃ 当事者	あさひ 旭 ぴあくらぶ
14 とうじしゃ 当事者	よこはまし れんらくかい 横浜市グループホーム連絡会 ※グループホーム入居者
15 とうじしゃ 当事者	ちい きかつどう サポートセンター ち 地域活動ホーム サポートセンター 径
16 とうじしゃ 当事者 (こども)	くんれんかい こうなんく かい 訓練会 港南区なずなの会 (よこはまししょうがいしゃ まも れんらくきょうぎかい (横浜障害児を守る連絡協議会))
17 とうじしゃ 当事者 + 家族	みなみふくし 南福祉ホームむつみ
18 とうじしゃ 当事者 + 支援者	ちい きかつどう れんらくかい 地域活動ホーム連絡会

しゅべつ 種別	だんたいめいしょう 団体名称
19 かぞく 家族	よこはまししんしんしょうがいじしゃ まも かいれんめい 横浜市心身障害児を守る会連盟
20 かぞく 家族	よこはま きょうかい 横浜てんかん協会
21 かぞく 家族	よこはまじゅうしん れんらくかい 横浜重心グループ連絡会 ～ばざばネット～
22 かぞく 家族	よこはまししょうがいじ まも れんらくきょうぎかい 横浜障害児を守る連絡協議会
23 かぞく 家族	よこはましした いふじゅうじしゃ ふ ぽ かいれんごうかい 横浜市肢体不自由児者父母の会連合会
24 かぞく 家族	よこはましじへいしょうきょうかい 横浜市自閉症協会
25 かぞく 家族	ぜんこくしんぞうびよう こども まも かいよこはまし ぶ 全国心臓病の子供を守る会横浜支部
26 かぞく 家族	よこはましせいしんしょうがいしゃかぞくれんごうかい 横浜市精神障害者家族連合会
27 かぞく 家族	しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人ぐりーんろーど (よこはまししょうがいしゃちい きさぎょうじょれんらくかい (横浜市障害者地域作業所連絡会))
28 しえんしゃ 支援者	よこはまししょうがいしゃちい きさぎょうじょれんらくかい 横浜市障害者地域作業所連絡会
29 しえんしゃ 支援者	ちて きしょうがいかんれんしせつきょうぎかい 知的障害関連施設協議会
30 しえんしゃ 支援者	よこはましせいしんしょうがいしゃちい きせいかつしえんれんごうかい 横浜市精神障害者地域生活支援連合会
31 しえんしゃ 支援者	せいしんしょうがいしゃせいかつしえん 精神障害者生活支援センター
32 しえんしゃ 支援者	はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センター
33 しえんしゃ 支援者	しゅうろうしえん 就労支援センター
34 しえんしゃ 支援者	き かんそうだんしえん 基幹相談支援センター
35 しえんしゃ 支援者	に じ そうだんしえん き かんれんらくかい 二次相談支援機関連絡会
36 しえんしゃ 支援者 + 家族	よこはまし れんらくかい 横浜市グループホーム連絡会

とうじしゃ お 当事者向けアンケート

よこはましでんしんしんせい
横浜市電子申請システムからも、
かんたん かいとう かのう
簡単に回答が可能です。
ぜ ひ りよう
是非ご利用ください。

にじげん
二次元
コード

しりよう べってん
資料1 別添2

はじめに、このアンケートを記入される方についておたずねします

問1 このアンケートはどなたが記入されますか。(○は1つだけ)

1. ご本人
2. ご家族
3. 支援者(施設・医療機関の職員等)
4. 成年後見人等
5. その他()

問1で2番から5番を選んだ方にうかがいます。

問1-1 本人以外の方が記入するのは、どのような状況からですか。(○は1つだけ)

1. 障害状況により、本人が書くことができない(身体の障害により、字を書くことができないなど)
2. 本人の意思表示が難しい
3. 未成年で、意思表示が難しい
4. その他

◆ご本人以外がこのアンケートを書くときは、ご本人の意志を確認しながら、また、ご本人の状況をできるだけ正確に把握したうえで書いてください。

この後の質問で、「あなた」とは障害者本人のことです。

あなたやあなたのご家族のことについておたずねします

問2 あなたの年齢

さい
歳

問3 あなたの性別(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問4 あなたは現在どこで暮らしていますか。(○は1つだけ)

1. 自宅(親など家族と同居)
2. 自宅(一人暮らし)
3. グループホーム
4. 障害児・者の入所施設(児童養護施設を含む)
5. 高齢者施設、高齢者向け住宅
6. 病院(入院中)

とい ばん えら かた
問4で1番を選んだ方にうかがいます。

とい じたく く ばあい いっしょ く ひと ふく なんにん
問 4-1 自宅で暮らしている場合、一緒に暮らしている人はあなたを含めて何人ですか。
(○は1つだけ)

1. ふたり 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人以上

とい いっしょ く かた
問 4-2 あなたと一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. つま おっと 妻や夫 2. ちちおや 父親 3. ははおや 母親 4. むすこ 息子
5. むすめ 娘 6. きょうだい しまい 兄弟・姉妹 7. そふ 祖父 8. そぼ 祖母
9. まご 孫 10. ゆうじん ちじん なかま 友人・知人・仲間 11. その他

とい げんざい く なにく
問5 あなたが現在暮らしているのは何区ですか。(○は1つだけ)

1. つるみく 鶴見区 2. かながわく 神奈川区 3. にしく 西区 4. なかく 中区
5. みなみく 南区 6. こうなんく 港南区 7. ほどがやく 保土ヶ谷区 8. あさひく 旭区
9. いそごく 磯子区 10. かなざわく 金沢区 11. こうほくく 港北区 12. みどりく 緑区
13. あおばく 青葉区 14. つづきく 都筑区 15. とつかく 戸塚区 16. さかえく 栄区
17. いずみく 泉区 18. せやく 瀬谷区 19. しがい 市外

とい しゅうにゆうげん なん
問6 あなたの収入源は何ですか。(○はいくつでも)

1. きゅうりょう こうちん 給料・工賃 2. ねんきん 年金 3. てあて 手当 4. せいかつ ほご 生活保護
5. かぞく えんじょ 家族からの援助 6. よちよきん しさん 預貯金・資産 7. しゅうにゆう 収入はない
8. その他

とい じしん ねんしゅう ねんきん てあて せいかつ ほご ひ しんぞく えんじょ ふく ほんにん
問7 あなたご自身の年収をおたずねします。(年金、手当、生活保護費、親族からの援助も含めて) 本人
が18歳未満の児童の場合、主に生計を維持する保護者の方についてお答えください。(○は1つだけ)

1. まんえんみまん 50万円未満 2. まんえんいじょう まんえんみまん 50万円以上100万円未満 3. まんえんいじょう まんえんみまん 100万円以上200万円未満
4. まんえんいじょう まんえんみまん 200万円以上300万円未満 5. まんえんいじょう まんえんみまん 300万円以上400万円未満 6. まんえんいじょう まんえんみまん 400万円以上500万円未満
7. まんえんいじょう まんえんみまん 500万円以上1000万円未満 8. まんえんいじょう まんえんみまん 1000万円以上1500万円未満 9. まんえんいじょう 1500万円以上
10. ふめい 不明 11. しゅうにゆう 収入はない

問8 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「身体障害者手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級
7. 身体障害者手帳はもっていない

問8-1 「身体障害者手帳」をお持ちの方は、記載されている項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 視覚障害 2. 聴覚・平衡機能障害
3. 音声・言語機能又はそしゃく機能障害
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳原生運動機能障害)
5. 内部機能障害

問8-1-1 「内部機能障害」の方は、障害の種別に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 心臓機能 2. 腎臓機能 3. 呼吸器機能
4. ぼうこう又は直腸機能 5. 小腸機能 6. 免疫機能
7. 肝臓機能

問8-2 身体障害者手帳を取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

1. 0歳～5歳 2. 6歳～12歳 3. 13歳～18歳 4. 19歳～29歳
5. 30歳～39歳 6. 40歳～64歳 7. 65歳以上

問8-2-1 障害の発症はいつですか。(○はひとつ)

1. 生まれつき(先天性) 2. 中途(病気や事故)

問9 あなたは「愛の手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「愛の手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

1. A1 2. A2 3. B1 4. B2 5. 愛の手帳はもっていない

問10 あなたが「愛の手帳」を取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

1. 0歳～5歳 2. 6歳～12歳 3. 13歳～18歳 4. 19歳～29歳
5. 30歳～39歳 6. 40歳～64歳 7. 65歳以上

問11 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「精神障害者保健福祉手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 精神障害者保健福祉手帳はもっていない

問11-1 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

1. 0歳～5歳 2. 6歳～12歳 3. 13歳～18歳 4. 19歳～29歳
5. 30歳～39歳 6. 40歳～64歳 7. 65歳以上

問12 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4 5. 区分5
6. 区分6 7. 受けていない 8. 18歳未満のため、障害支援区分の対象外である

問13 あなたは「難病」の診断を受けていますか。(○は1つだけ)

※障害者手帳を交付されていないが障害者総合支援法のサービスを利用している方が対象

1. 受けている 2. 受けていない

問14 あなたが「難病」の診断を受けた年齢はいつですか。(○は1つだけ)

1. 0歳～5歳 2. 6歳～12歳 3. 13歳～18歳 4. 19歳～29歳
5. 30歳～39歳 6. 40歳～64歳 7. 65歳以上

問15 あなたは、医療的ケア※を必要としていますか。必要している医療的ケアに○をつけてください。

(○はいくつでも) ※医療的ケア…家族や看護師が日常的に行っている医療的な生活援助行為

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 気管切開のガーゼやベルト交換 | 2. 気管カニューレ挿入 |
| 3. 人工呼吸器管理 | 4. 在宅酸素療法 |
| 5. 気管内の吸引 | 6. 口・鼻・咽頭・喉頭吸引 |
| 7. 経鼻チューブ挿入・交換 | 8. 経管栄養の注入 |
| 9. ネブライザー(噴霧吸入器)吸入 | 10. 経口摂取介助 |
| 11. 中心静脈栄養の実施 | 12. 点滴 |
| 13. インシュリン注射 | 14. 導尿 |
| 15. 排便管理 | 16. 腹膜透析 |
| 17. ストマ | 18. その他 |

ふだんの生活で困っていること、これからの困りごとについておたずねします

問16 あなたは、日常の生活に介助を必要としますか。介助を必要とする項目すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|-------------------------|---------|
| 1. 食事をする | 2. トイレを使う | 3. 入浴する |
| 4. 衣服の着脱をする | 5. 家の中を移動する | 6. 外出する |
| 7. 買い物をする | 8. 家事(食事の支度、洗濯、掃除など)をする | |
| 9. その他 | 10. 介助を必要としない | |

問17 あなたは、自分だけでまわりの人に意思を伝えることができますか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 誰とでも意思を伝えることができる |
| 2. 家族やごく身近な人になら、意思を伝えることができる |
| 3. 意思を伝えることは難しい |
| 4. 意思を伝えることができない |

問17-1 あなたはどのような方法で意思を伝えていますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------------------|--------------|-----------------|
| 1. 音声言語 | 2. 手話言語 | 3. スマートフォンやパソコン |
| 4. 点字 | 5. 筆談(ボード含む) | 6. 表情やジェスチャー |
| 7. 日常生活用具・補装具(重度障害者用意思伝達装置)等 | | |

問18 あなたは生活の中で、どのようなことでこま困ることがありますか。こま困ったときにどこにそうだん相談しますか。

	こま困りごとの有無 (それぞれに○はひとつ)			こま困ったときの相談先(それぞれに○はいくつでも) そうだんさき															
	困る	困る	困る	家族	友人	近所の人や 自治会・町内会、 民衆等	支援機関等 (療育関係の職員の 等)	麻痺児等	事務関係・親の 会など	区役所(福祉保健課)	福祉施設 ・ボランティア 活動	通学 バス	地域センター	地域の 医療機関	学校	福祉施設 ・ボランティア 活動	その他		
せいにかつなかこま生活の中で困ること																			
【意思疎通が難しい】																			
1. 自分の意志が相手に伝わらない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
2. 周囲の理解が足りない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
3. 役所や病院、銀行などの手続きが難しい	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
【外出や過ごし方に不安がある】																			
4. 外出が困難	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
5. 余暇などを過ごす場や機会がない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
6. 外出する際、障害に配慮した場所が少ない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
7. 一人で過ごすのが不安	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
【服薬や金銭等の管理に不安がある】																			
8. 服薬の管理が難しい	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
9. 金銭の管理が難しい	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
【学校・就業の場に不満がある】																			
10. 利用している施設に不満がある	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
11. 希望する就労の場がない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
12. 学校や施設、仕事の場が遠方で不便	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
【交流できる人や場が少ない】																			
13. 結婚相手や恋人などが見つからない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
14. 同じ障害のある仲間と出会えない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
15. 近所で知り合いがいけない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
【情報・制度・サービスに不満がある】																			
16. 情報を入手しにくい	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
17. 制度やサービスがわかりにくい	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
18. 必要な介助が受けられない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
19. 希望する学校や施設を利用できない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
【継続的な支援体制に不安がある】																			
20. 進学・就職の際に情報が引き継がれない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
21. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
22. 支援者が変わる際に情報が引き継がれない	ア	イ	ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	

とい しょうがい かた そうだんさき おも
問19 障害のある方の相談先についてどう思いますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 1. 相談先が多すぎる
（そうだんさき おお） | 2. たらい回しにされる
（まわ） | 3. 窓口が細かすぎる
（まどぐち こま） |
| 4. 相談先の場所がわからない
（そうだんさき ばしょ） | 5. 相談先が少ない
（そうだんさき すく） | 6. 不満はない
（ふまん） |

とい ふだん せいかつ がいしゅつ とき がいしゅつ おも とき こま
問20 普段の生活で外出する時や、外出したいと思う時に困ることはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

【バリアフリー・ユニバーサルデザイン】

- | | |
|---|--|
| 1. 道路や駅に階段や段差が多い
（どうろ えき かいだん だんさ おお） | 2. 道路に自転車や看板などの障害物が多い
（どうろ じてんしゃ かんばん しょうがいぶつ おお） |
| 3. 駅や道路や利用する施設の表示がわかりにくい
（えき どうろ りよう しせつ ひょうじ） | 4. バスや電車の乗り降りが困難・不便
（でんしゃ の おり こんなん ふべん） |
| 5. 点字ブロックや音の出る信号機がない
（てんじ おと で しんごうき） | |
| 6. 利用する建物の設備（トイレ・エレベータなど）の不備・少ない
（りよう たてもの せつび ふ び すく） | |

【交通機関】

- | | |
|---|---|
| 7. 交通機関の利用に危険を感じる
（こうつうきかん りよう きけん かん） | 8. 利用できる交通機関が少ない
（りよう 利用できる 交通機関 少ない） |
| 9. 車などに危険を感じる
（くるま きけん かん） | 10. 乗務員の障害に対する配慮が足りない
（じょうむいん しょうがい たい はいりよ た） |

【周囲の環境（心のバリアフリー）】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 11. 人の目が気にかかる
（ひと め き） | 12. いじめや意地悪がこわい
（い じ わる） |
| 13. 余計な世話をやく人がいる
（よけい せ わ ひと） | |

【その他】

- | | | |
|-------------------------|----------------|---------------------|
| 14. 介助者がいない
（かいじょしゃ） | 15. その他
（た） | 16. 困ることはない
（こま） |
|-------------------------|----------------|---------------------|

とい げんざい しょうがいふくし じょうほう だれ じょうほう にゆうしゅ
問21 現在、障害福祉にかかわる情報について、どこから（誰から）情報を入手していますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|----------------------------------|
| 1. 家族
（かぞく） | 2. 友人
（ゆうじん） | 3. 近所の人や自治会・町内会の人
（きんじょ ひと じちかい ちやうないかい ひと） | 4. 民生委員・児童委員
（みんせいいいん じどういいん） |
| 5. 成年後見人等
（せいねんこうけんにんとう） | 6. 当事者団体・親の会など
（とうじしゃだんたい おや かい） | 7. 区役所（福祉保健センター）
（く やくしょ ふくしほけん） | |
| 8. 支援者（医療機関・施設・通所先等の職員…地域活動ホームなどの通所先を含む）
（しえんしゃ いりようきかん しせつ つうしよさきどう しよくいん ちいきかつどう つうしよさき ふく） | | | |
| 9. 基幹相談支援センター・生活支援センター
（きかんそうだんしえん せいかつしえん） | 10. 後見的支援室
（こうけんてきしえんしつ） | 11. 計画相談事業所
（けいかくそうだんじぎょうしよ） | |
| 12. 地域ケアプラザ
（ちいき） | 13. 地域療育センター
（ちいきりょういく） | 14. 学校
（がっこう） | |
| 15. 広報よこはま・横浜市ホームページ
（こうほう よこはまし） | 16. インターネット・SNS | | |
| 17. テレビ・ラジオなどのメディア
（しんぶん ざっし しよせき） | 18. 新聞・雑誌などの書籍
（しんぶん ざっし しよせき） | 19. どこからも入手していない
（にゆうしゅ） | |

とい 問21-1 問21 の場所や人から入手した情報について、不満に感じたことはありますか。(○は1つだけ)

1. 特に不満なことはない
2. もう少し情報が欲しい
3. 入手した情報だけでは、どうすれば良いかわからない
4. 情報の種類や量が多すぎて、自分に必要な情報を見つけることができない

とい 問22 あなたは将来(6年後)に不安がありますか。とくに不安を感じることを次の中から3つまで選んで○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 介助してくれる人がいるか | 2. 一緒に暮らす家族がいるか |
| 3. 学校など希望する進路に進めるか | 4. 働く場があるか |
| 5. 十分な収入があるか | 6. 趣味や生きがいを持てるか |
| 7. 生活する上で必要な情報が入手できるか | 8. 健康や体力が保てるか |
| 9. 住める場所があるか | 10. 災害時に安全が確保できるか |
| 11. その他 | 12. 不安はない |

とい 問23 将来(6年後)の障害者福祉を考えると、あなたが特に重要と思うものに3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 必要ときに十分な介助が受けられる | 2. 施設が整備されている |
| 3. 介助に必要な経済面での支援が受けられる | 4. 困ったときの相談体制が整っている |
| 5. 自分に適した学校や就職が選択できる | 6. 街の中が障害者にとって安全で快適である |
| 7. 安心して住めるところがある | 8. 健康管理や治療・リハビリを受けやすい |
| 9. 旅行などの外出が気兼ねなくできる | 10. 周囲の人が理解してくれる |
| 11. 障害のない人との交流の機会が多くある | 12. 災害時に安全が確保できる |
| 13. 趣味や生きがいを持てる | 14. その他 |

とい 問24 あなたは将来(6年後)どこで生活したいと考えますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------------------|------------|-------------|
| 1. 自宅 | 2. グループホーム | 3. 障害者の入所施設 |
| 4. 特別養護老人ホームなど高齢者の入所施設 | 5. その他 | |

問24-1 将来(6年後)どなたと暮らしたいですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------|----------|---------------|
| 1. 一人 | 2. 妻や夫 | 3. 子 |
| 4. 親 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. 友人・知人・仲間など |
| 6. その他 | | |

あなたの地域での生活状況についておたずねします

問25 あなたが普段通っている場所について教えてください。ますか。(○はいくつでも)

●未就学(おおむね6歳まで)の方

- | | | |
|-------------|------------------|--------|
| 1. 児童施設 | 2. 幼稚園 | 3. 保育所 |
| 4. 地域療育センター | 5. 児童発達支援事業所 | 6. 訓練会 |
| 7. その他 | 8. 特に通っているところはない | |

●学齢期(おおむね18歳まで)の方

- | | | |
|----------------------------------|-------------------|----------|
| 9. 小・中学校等の一般学級 | 10. 小・中学校等の個別支援学級 | 11. 高等学校 |
| 12. 特別支援学校・養護学校 | 13. 専門学校・大学・大学院 | |
| 14. ハートフルフレンド・ハートフルルーム・ハートフルスペース | | |
| 15. その他 | 16. 特に通っているところはない | |

●青年期(おおむね18歳以上)以降の方

- | | | |
|----------------------------|---------------------|--------------------|
| 17. 専門学校・大学・大学院 | 18. 自営業 | 19. 企業・官公庁 |
| 20. 就労移行支援・生活介護等の福祉サービス事業所 | 21. 地域活動支援センター(作業所) | |
| 22. デイケア(病院等) | 23. 生活支援センター | 24. 就労支援センター・職業訓練校 |
| 25. 生活教室(区役所) | 26. その他 | 27. 特に通っているところはない |

※ 次からの設問(問25-1～問25-7)は、最も多く通っているところについてお答えください。

問25-1 利用の回数は、週に何回ですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|-----------|---------|--------|
| 1. 週に1日 | 2. 週に2～4日 | 3. 週に5日 | 4. その他 |
|---------|-----------|---------|--------|

問25-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかりますか。最も多く通っているところについてお答えください。(○は1つだけ)

1. 30分以内 2. 1時間以内 3. 2時間以内 4. 2時間以上

問25-3 通園・通学・通勤・通所に送迎がありますか。(○はいくつでも)

1. 送迎なし(一人) 2. 家族の送迎 3. 通所先・学校の送迎
4. ヘルパー 5. その他

問25-4 現在、通園・通学・通勤・通所のときには、何を利用していますか。(○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. 送迎バス
6. 自家用車 7. ヘルパー 8. その他

問25-5 今後、通園・通学・通勤・通所のときには、できれば何を利用したいですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. 送迎バス
6. 自家用車 7. ヘルパー 8. その他

問25-6 主に利用している学校、仕事の間、施設(問25の回答)には満足していますか。(○は1つだけ)

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. 普通だと思う
4. 改善してほしい部分がある 5. 不満である

問25-7 問25-6で回答した理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 施設の設定 2. 支援者の対応 3. 人間関係
4. 活動内容 5. 施設の立地 6. その他

問25-8 問25で「特に通っているところはない」と答えた方は、通っていない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. どこにも通いたくないと思っているから 2. 在宅で、家事・育児・介護をしているから
3. 在宅で、仕事・勉強をしているから 4. 趣味などの活動をしているから
5. 就職活動をしているから 6. どこかに通いたいが、空気がない
7. どこかに通いたいが、近くにない 8. どこかに通いたいが、参加したい活動がない
9. どこかに通いたいが、受け入れてくれるところがない 10. その他

とい がくれいき しょう ちゅう こうこう かた ほうかご おも す
 問26 学齡期(小・中・高校など)の方におたずねします。放課後は主にどのように過ごしていますか。
 (○はいくつでも)

- | | | |
|--|---|-------------------------------------|
| 1. 学童保育
<small>がくどうほいく</small> | 2. はまっこふれあいスクール | 3. 放課後キッズクラブ
<small>ほうかご</small> |
| 4. 放課後等デイサービス
<small>ほうかごとう</small> | 5. こども食堂等こどもの居場所
<small>しょくどうとう いばしょ</small> | |
| 6. 部活・サークル活動に参加
<small>ぶかつ かつどう さんか</small> | 7. 塾・習い事
<small>じゅく なら ごと</small> | 8. 友人と遊ぶ
<small>ゆうじん あそぶ</small> |
| 9. 自宅で過ごす
<small>じたく す</small> | 10. その他
<small>た</small> | |

ふくしとくべつじょうしゃけん りょう
 27 あなたは福祉特別乗車券をどのくらい利用していますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. ほぼ毎日
<small>まいにち</small> | 2. 週に1～2回
<small>しゅう かい</small> | 3. 月に1～2回
<small>つき かい</small> |
| 4. 年に数回
<small>ねん すうかい</small> | 5. 利用していない
<small>りょう</small> | |

近所の人とおつきあいや余暇についておたずねします

問28 現在、あなたは近所の人とどのようなおつきあいをしていますか。また、今後、できればどのようにおつきあいしていきたいと思っていますか。(○は現在、今後それぞれにいくつでも)

	現在	今後
挨拶をする程度	1	1
時々話をする	2	2
一緒に外出したり遊んだりする	3	3
お互いの家を訪問する	4	4
たまに相談や愚痴を聞いてもらう	5	5
よく相談や愚痴を聞いてもらう	6	6
子供会や自治会・町内会など地域の活動と一緒にする	7	7
祭りや防災訓練などの地域のイベントに参加する	8	8
地域の趣味やスポーツのサークルと一緒に活動する	9	9
その他	10	10
特につきあいはない	11	11

問29 あなたは自由時間や余暇時間をどのように過ごしていますか。また、今後、できればどのように過ごしたいですか。(○は現在、今後それぞれにいくつでも)

	現在	今後
買い物に行く	1	1
映画やコンサート、美術展、図書館、スポーツ観戦に行く	2	2
動物園、水族館、遊園地などに行く	3	3
習い事をしている	4	4
趣味のサークルに入っている	5	5
障害福祉の事業所で行っている行事に参加している	6	6
障害者が集まる団体の活動に参加している	7	7
外食する	8	8
友人宅を訪問する	9	9
散歩する	10	10
運動する	11	11
旅行する	12	12
家で過ごす	13	13
動画やSNSなどのインターネットの視聴やオンライン上での交流	14	14
その他	15	15

問29-1 あなたは、運動をどこでしていますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-------------------|----------------|--------|-------------|
| 1. 横浜ラポール、ラポール上大岡 | 2. 各区のスポーツセンター | | |
| 3. 民間のジムなど | 4. 公園・学校 | 5. その他 | 6. 運動はしていない |

問29-2 今後、学校や職場以外での活動に参加するにはどのようなことが必要ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|------------------|------------|
| 1. 内容に興味があること | 2. 活動の場が近いこと | 3. 介助があること |
| 4. 送迎サービスがあること | 5. 障害に対して配慮があること | |
| 6. インターネットの接続環境 | 7. その他 | |

就労の状況についておたずねします

問30 あなたは、現在働いていますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------|--------|--------------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員 | 3. 自営業 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 就労継続支援A型事業所 | 6. 地域活動支援センター(作業所) | | |
| 7. 就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所 | 8. 家事・介護・育児 | | |
| 9. 働いていない | 10. その他 | | |

問30で1番から7番までに回答した方にうかがいます。

問30-1 自分の障害のことを職場に伝えてありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 伝えている | 2. 伝えていない |
|----------|-----------|

問30-2 仕事上で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 仕事がむずかしい |
| 2. 休みが少ない |
| 3. 障害について理解をしてもらえない |
| 4. 職場までの通勤が大変 |
| 5. 職場の建物や設備に配慮が足りない |
| 6. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない |
| 7. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある |
| 8. 職場や仕事について相談するところがない |
| 9. その他 |
| 10. 困っていることはない |

とい
問30-3 今後の就労意向についておたずねします。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 今後も今の仕事を続けたい | 2. 違う仕事に変わりたい |
| 3. 仕事をやめたい | 4. どちらとも言えない |

とい
問30-4 今の仕事の賃金・給料についておたずねします。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|------------------|----------|
| 1. 十分満足している | 2. 十分ではないが満足している | 3. 不満である |
|-------------|------------------|----------|

とい
問30-5 あなたが感じる働きがいについておたずねします。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 貯金ができる | 2. 好きなことにお金を使える |
| 3. 社会の役に立っている | 4. 自分の成長につながっている |
| 5. 仲間ができて楽しい | 6. 自立した生活が送れる |
| 7. 家族の生活を支えられる | 8. 働くことが楽しい |
| 9. その他 | 10. 特にない |

とい
問30 で「9. 働いていない」と回答した方にうかがいます。

とい
問30-6 あなたは過去に働いていたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 働いていたことがある | 2. 働いていたことはない |
|---------------|---------------|

とい
問30-7 働いていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 働くところがないため | 2. 通勤が困難なため |
| 3. 自分に合う仕事がないため | 4. 自信がないため |
| 5. 体調が悪いため | 6. 高齢のため |
| 7. 家族などの反対があるため | 8. 働きたくない |
| 9. 未就学又は就学中のため | 10. その他 |

とい
問30-8 今後の就労希望についておたずねします。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 一般企業の常勤従業員や公務員などの常勤従業員として働きたい | 2. パートやアルバイトとして働きたい |
| 3. 障害福祉サービス事業所等を利用して働きたい | 4. 起業したり、家業を継いだりしたい |
| 5. その他 | 6. 働きたくない |

とい
問30-8 で1番から4番までに回答した方にうかがいます。

とい
問30-8-1 どのようなところで働きたいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 自宅から通える範囲ならどこでも良い | 2. できる限り自宅の近くが良い |
| 3. 自宅で働きたい | 4. どこでも良い |

問31 全ての方におたずねします。新しい仕事について、仕事を続けるために、どのようなことが必要だ
とおもいますか。(○はいくつでも)

1. 一人ひとりの状況にあった仕事の紹介
2. 新しい仕事に関する相談、情報提供
3. 今の職場で働く上で困ったときに気軽に相談できる場所
4. 仕事に慣れるまで助言や手助けをするコーディネーター
5. 企業や雇用主の障害者に対する理解の促進
6. 勤務時間、勤務形態への配慮
7. 新しい技術や職業能力を身につける場や機会
8. 軽作業などを通じて対人関係を学んだり、日常生活のリズムを身につける
9. 作業を通して就労の訓練を行う
10. 企業への職場実習等を通じた就労に向けた訓練
11. 仕事や職場環境に慣れるための手伝いをしてくれる専門家(ジョブコーチ)の派遣
12. その他
13. 上記のような支援は必要ない

医療と健康についておたずねします

問32 あなたは現在医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|------------|
| 1. 通院している | 2. 往診を受けている | 3. 入院している | 4. かかっていない |
|-----------|-------------|-----------|------------|

問33 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、風邪をひいた時などに診察を受ける近くのクリニックなどへ受診していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|------------------|------------|
| 1. 受診している | 2. 受診したいが、受診できない | 3. 受診していない |
|-----------|------------------|------------|

問34 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、歯のことで診察を受ける近くの歯科クリニックへ受診していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|------------------|------------|
| 1. 受診している | 2. 受診したいが、受診できない | 3. 受診していない |
|-----------|------------------|------------|

問35 病院での困りごとは何ですか。(○はいくつでも)

1. 障害特性に応じたコミュニケーション手段を用意してもらえない(例えば、筆談をしてくれないなど)
2. 障害を理由に受診を断られる
3. 障害特性を理解してもらえない
4. 話をきちんと聞いてもらえない
5. 待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい
6. 障害を理由に診察の順番を後回しにされる
7. 治療の説明がよくわからない
8. 移動する手段がない等の理由で、病院に行くことができない
9. 特に困ったことはない

問36 あなたの健康・医療について、必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 薬の管理
2. 栄養面での管理・指導
3. 口腔ケア
4. 訪問看護や往診など、在宅医療の利用
5. 自分の障害・病気について、相談できる場所
6. 自分の体調について、相談できる場所
7. 定期的な健康診断
8. 適度な運動
9. 十分な睡眠と休養
10. 特に何もなし

※1年以上、病院で過ごしている方にうかがいます。

問37 病院での生活が長くなっている理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 治療の継続が必要
2. 帰る家がない
3. 退院したあと、施設やグループホームでの暮らしを考えているが、空きがない
4. 退院したいが協力してくれる人がいない
5. 退院に向けた環境は整っているが、退院後の生活が不安
6. 情報が少ないため、退院するイメージがわからない
7. わからない

さいがいかんけい
災害関係についておたずねします

とい さいがい じ そな
問38 災害時への備えとして、どんなことをしていますか。(○はいくつでも)

1. じぶん ひなんさき ちいきぼうさいきょてん かくにん
自分の避難先(地域防災拠点など)を確認している
2. さいがい じ みず しょくりょう じゅんび
災害時の水や食糧を準備している
3. しょうがいじょうきょう ひつよう そうぐ ほ そうぐ くすり さんそ じゅんび
障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素ボンベなどを準備している
4. ざいたくいりょう き き よ び でんげん よ び じゅんび
在宅医療機器の予備電源や予備バッテリーを準備している
5. かぞく しえん ひと さいがい じ たいおう はなし
家族や支援してくれる人と、災害時の対応について、話をしている
6. ぼうさいくんれん さんか
防災訓練などに参加している
7. ちいき ひと じじょう つた ようえんごしゃめいぼとう きさい
地域の人に事情を伝えている(要援護者名簿等への記載 など)
8. とく なに
特に何もしていない

とい さいがい そな ふあん おも なん
問39 災害に備えていても、不安に思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. ひなんばしょ まわ ひと し ひと す
避難場所所周りの人や知らない人とうまく過ごせるか
2. ひなんばしょ せつび しょうがい はいりょ
避難場所の設備が障害に配慮されている(バリアフリーになっている)か
3. ひなんばしょ ひと じぶん しょうがい りかい
避難場所の人が自分の障害を理解してくれるか
4. ひなんかんこく じゅうよう じょうほう しょうがいしゃ はい
避難勧告などの重要な情報がきちんと障害者にも入ってくるか
5. ひなんばしょ つ
避難場所までたどり着けるか
6. ていでん ざいたくいりょう き き つか
停電で在宅医療機器が使えなくなるのではないか
7. ふうすいがい たい たいしよほうほう
風水害に対する対処方法がわからない
8. ひなんばしょ
避難場所がわからない
9. た
その他

とい ちょうさ いけんとう じゅう きにゅう
問40 このアンケート調査についてご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう ゆうそうこうふかいし
精 神 障 害 者 保 健 福 祉 手 帳 の 郵 送 交 付 開 始 に つ い て

きゃくさま ようぼう う れいわ ねん がつ にちうけつけぶん げんざい まどぐち
お 客 様 からの ご 要 望 を 受 け、令 和 7 年 12 月 1 日 受 付 分 から、現 在、窓 口 の み で
こうふ せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう い か てちょう ゆうそう
交 付 し て い る 精 神 障 害 者 保 健 福 祉 手 帳 (以 下、「手 帳」とい う。)に つ い て、① 郵 送
しんせい かた きぼう かた たいしょう ゆうそう こうふ かいし
で 申 請 す る 方 か つ ② 希 望 さ れ る 方 を 対 象 に 郵 送 で の 交 付 を 開 始 し ま す。

ゆうそうこうふ なが
1 郵 送 交 付 の 流 れ

ゆうそうこうふ きぼう きゃくさま つうじょう ゆうそうしんせいしよるい くわ ゆうそう
郵 送 交 付 を 希 望 す る お 客 様 は、通 常 の 郵 送 申 請 書 類 に 加 え、① 郵 送
こうふよう およ てちょうようかおじゃしん どうふう
交 付 用 の レ タ ー パ ッ ク (プ ラ ス も し く は ラ イ ト) 及 び ② 手 帳 用 顔 写 真 を 同 封 し、
せいしんつういんいりょう てちょうじ むしより い か じ むしより あて
精 神 通 院 医 療 ・ 手 帳 事 務 処 理 セ ン タ ー (以 下、「事 務 処 理 セ ン タ ー」とい う。)宛 に
しんせい じ むしよりかんりようご きゃくさま じゅうしよあて じ むしより
申 請 い た だ き ま す。事 務 処 理 完 了 後、お 客 様 の 住 所 宛 に 事 務 処 理 セ ン タ ー か ら
てちょう ゆうそうこうふ
レ タ ー パ ッ ク に て 手 帳 を 郵 送 交 付 し ま す。

ゆうそうこうふかいし ひおよ たいしょうしゃ
2 郵 送 交 付 開 始 日 及 び 対 象 者

ゆうそうこうふ たいしょう れいわ ねん がつ にちいこう じ むしより うけつ ゆうそう
郵 送 交 付 の 対 象 は、令 和 7 年 12 月 1 日 以 降、事 務 処 理 セ ン タ ー で 受 付 け た 郵 送
しんせい ゆうそうこうふ きぼう かた ゆうそうこうふよう
申 請 の う ち、郵 送 交 付 を 希 望 さ れ る 方 で、郵 送 交 付 用 の レ タ ー パ ッ ク ((プ ラ ス も し
およ てちょうようかおじゃしん どうふう かた たいしょう ゆうそうひよう
く は ラ イ ト)) 及 び 手 帳 用 顔 写 真 を 同 封 し た 方 を 対 象 と し ま す。な お、郵 送 費 用
だい きゃくさまふたん ゆうそうほうほう かんい
(レ タ ー パ ッ ク 代)は お 客 様 負 担 と な り ま す。郵 送 方 法 は レ タ ー パ ッ ク と し、簡 易
かきとめ ふつうゆうびん ほか ほうほう ゆうそうこうふ おこな
書 留 や 普 通 郵 便 な ど、そ の 他 の 方 法 で の 郵 送 交 付 は 行 い ま せ ん。

3 郵送交付の対象手続き

ゆうそうしんせい かとう てつづ
郵送申請が可能な手続き

しんき こうしん さいしょうにん とungskyūhēngōu しがいてんにゆう きさいじこうへngōu
新規 更新（再承認） 等級変更 市外転入 記載事項変更

さいこうふ ようしきへngōu
再交付 様式変更

4 区役所窓口・オンラインでのお手続きについて

かくくやくしよまどぐち しんせい きゃくさまおよ ゆうそうこうふ きぼう
各区役所窓口やオンラインで申請されたお客様及び郵送交付を希望しない

ゆうそうしんせい きゃくさま ひ つづ かくくやくしよまどぐち てちょう こうふ てちょう しょう
郵送申請のお客様は引き続き各区役所窓口で手帳を交付します。手帳の使用

ほうほうとう かん そうだん かくくやくしよまどぐち うけたまわ
方法等に関するご相談は各区役所窓口で承ります。

5 郵送交付のお問い合わせ及び周知について

ゆうそうこうふ と あ およ しゅうち
郵送交付のお問い合わせについては事務処理センターにて承ります。周知につ

がつちゅう よこはまし けいさい
いては10月 中 に横浜市のホームページに掲載します。

し といあわ さき
このお知らせについての問合せ先

よこはまし けんこうそうだん
横浜市こころの健康相談センター

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょうたんとう
精神障害者保健福祉手帳担当

でんわ
電話：045-662-3531

ふあつくす
FAX：045-662-3525

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう 精神障害者保健福祉手帳を

しりょう
資料2-2

ゆうそう う と 郵送で受け取ることが できるようになりました

ゆうそう しんせい ばあい きぼう れいわ ねん がつ にちじゅりばん
郵送による申請の場合のみ、ご希望できます！（令和7年12月1日受理分～）

よこはまし てちょう こうふ すま くやくしよ まどぐち おこな
横浜市では手帳の交付はお住いの区役所の窓口のみで行っていましたが、平日区役所への来所が
むずか かたむ ゆうそう こうふ かのう ゆうそうしんせい まどぐちこうふ ひ つづ かのう
難しい方向けに、郵送による交付も可能となりました。なお、郵送申請でも窓口交付は引き続き可能で
す。

- ◇ゆうそうこうふ ばあい あら てちょう はっこう かおじゃしん ひつす
郵送交付の場合、新たに手帳を発行しますので顔写真は必須となります。
- ◇こうふじ せいど あんない どうふう てちょう ひも
交付時に制度のご案内を同封いたします。手帳に紐づくサービスについては
べつとくやくしよとう てつづ ひつよう ばあい
別途区役所等での手続きが必要となる場合があります。
- ◇レターパックはご自身で用意ください。
- ◇いかなる ばあい ばあい あず へんきやく おこな
場合でもお預かりしたレターパックの返却は行いません。
- ◇ふざいとう ゆうびんきょく うけとりきかん す ばあい じ むしより へんれい さいど
不在等により郵便局の受取期間が過ぎてしまった場合は、事務処理センターに返戻されるため、再度
レターパックをご提出ください。



ゆうそうこうふ しんせい しゅるい 郵送交付できる申請の種類

しんき こうしん さいしやうにん どうきゅうへんこう
新規 / 更新(再承認) / 等級変更
さいこうふ し がいてんにゆう
再交付 / 市外転入
きさいじ こうへんこう ようしきへんこう
記載事項変更 / 様式変更

てちょう おとどけさき 手帳のお届け先

じゅうみんひよう じゅうしよ そうふさき
○住民票の住所、または送付先を
せってい じゅうしよ
設定されている住所

ゆうそうこうふ ひつよう ていしゅつぶつ 郵送交付に必要な提出物

たいめんうけとり
○レターパックプラス(対面受取)
または
ゆうびん う どうかん
レターパックライト(郵便受け投函)
※レターパック以外は不可。



かおじゃしん たて センチ よこ センチ まい
○顔写真(縦4 cm × 横3 cm)1枚
じょうき てんいがい しんせいしよるい
※上記2点以外の申請書類については
かき かくにん
下記ホームページをご確認ください。

と あ さき ゆうそうしんせいそうふさき
＜問い合わせ先・郵送申請送付先＞

じゅうしよ ゆうびん よこはまし なかくほんちょう
住所：〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

あてさき よこはましけんこうふくしきよくせいしんつういんいりよう てちょう じ むしより
宛先：横浜市健康福祉局精神通院医療・手帳事務処理センター

でんわ
TEL: 045-671-3623 (平日9時 ~ 17時)



はっこうもと よこはまし けんこうそうだん
発行元：横浜市こころの健康相談センター

そあん たい じっし
素案に対するパブリックコメントを実施しています。

じっしきかん れいわ ねん がつ か がつ にち
【実施期間: 令和7年10月14日~11月13日】

だい き よこはまし いぞんしょうたいさくち いきし えんけいかく そあん がいようばん
「第2期横浜市依存症対策地域支援計画」素案【概要版】

だい しょう
第1章

けいかく がいよう
計画の概要

1

けいかくさくてい はいけい しゅしとう
計画策定の背景と趣旨等

いぞんしょう と ま げんじよう
＜依存症を取り巻く現状＞

- 依存症とは、アルコールや薬物などの物質の使用や、ギャンブル等やゲームなどの行為を繰り返すこと
によって脳の状態が変化し、日常生活や健康に問題が生じているにもかかわらず、「やめたくても、
やめられない」状態を指します。その背景には、障害や貧困、失業、虐待やDVなど、様々な生き
づらさの問題が複合的に存在しているケースが多く見られます。近年においては、オンラインギャン
ブルや市販薬・処方薬の過剰摂取等、依存症の対象が拡大しており、年齢や性別、職業、家庭環境を
問わず誰もが容易に直面しうる問題となっています。
- 依存症になると、心身の健康状態の悪化、仕事や学業の継続困難、借金が増大や生活困窮など、多岐
にわたる課題に直面します。併せて、その影響はこどもを含む家族や周囲の人々にもおよび家族をう
つ状態にしたり、経済的に困窮させるなど、本人の依存症によって生じる様々な問題は周囲の人々
も巻き込んでいきます。
- 依存症に対して「本人の意志の弱さが原因である」、「治らない」といった誤解や偏見が社会全体に根強
く残っています。こうした誤解や偏見は、依存症に悩む人が支援を求めたり、回復をしながら社会生活
を送る上で、大きな障壁となっています。
- 依存症の問題に取り組む上では、社会全体を対象とした理解促進のための普及啓発を進めるとともに、
行政・福祉・医療・法律・教育など様々な領域の専門家が連携した支援体制を講じていくことが重要
となります。

けいかくさくてい しゅし
＜計画策定の趣旨＞

- 本計画は国の「依存症対策地域支援事業実施要綱」において定められた、地域支援計画として策定しま
す。
- 本計画は、国、神奈川県及び本市における関連計画との整合を図りながら策定します。
- 本計画は、①第1期計画の取組に関する振り返り、②「横浜市精神保健福祉審議会及び同審議会依存症
対策検討部会」での議論、③「横浜市依存症関連機関連携会議」での意見集約、④依存症に関する市民
意識調査や民間支援団体等を対象としたヒアリング調査、医療機関受診状況の分析等を通じ、策定
を進めました。
- 本計画は、これまでの施策を振り返り、市民全体の依存症の問題に対する更なる理解の促進を図り、
依存症の本人や依存症が疑われる人、その家族が適切な支援につながり、回復し続けられる環境の整備
を目的としています。

＜計画の期間＞

- 本計画の計画期間は、令和8年度～令和12年度の5年間とします。

＜計画の対象＞

- 本計画は、アルコール・薬物・ギャンブル等依存症やゲーム行動症のほか、その他の依存症を含む依存症全般を視野に入れた内容として策定しています。

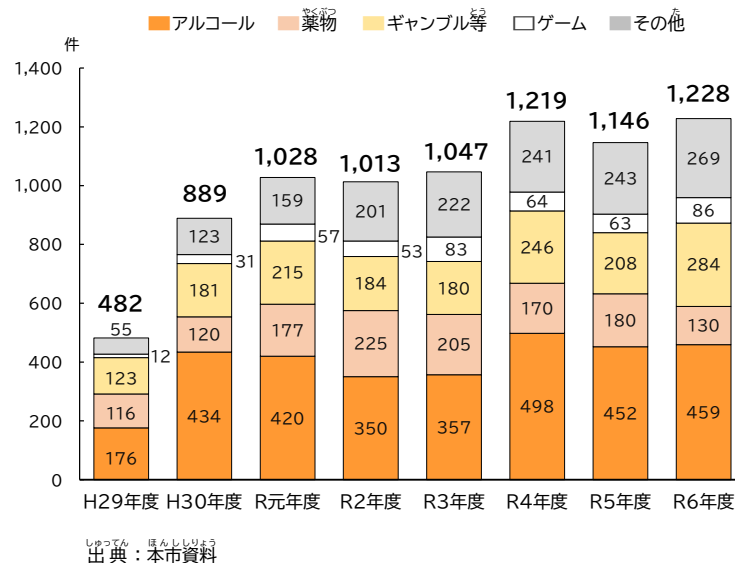
第2章

本市における依存症に関連する状況と課題

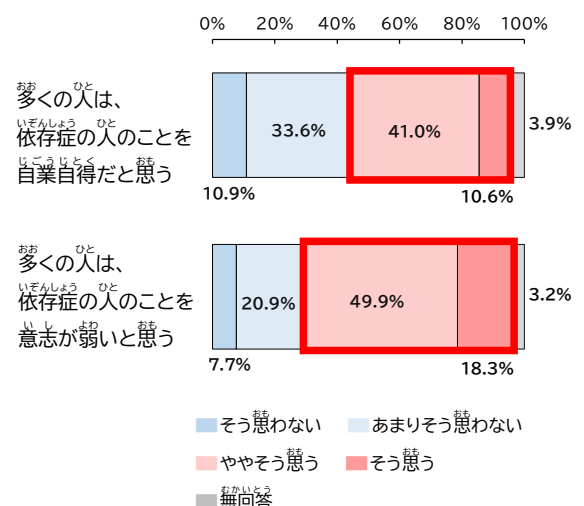
1 本市の依存症に関する状況

- 本市は、こころの健康相談センターを依存症相談拠点として位置付けており、依存症に関する個別相談、回復プログラムや家族教室、依存症に関する普及啓発や研修等を行っています。また、依存症に関する支援者の育成や身近な支援者を含む関係機関同士の協働・連携の促進に向けた取組を実施しています。
- こころの健康相談センターにおける相談状況を見ると、アルコール・薬物・ギャンブル等依存症のほか、ゲーム行動症やその他の依存症に関する相談件数も増加傾向にあり、令和6年度は年間のべ1,228件の相談を受け付けました。
- 令和6年度に実施した「依存症に関する市民意識調査」によると、「多くの人は、依存症の人のことを自業自得だと思う」の質問について「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した方が51.6%、「多くの人は、依存症の人のことを意志が弱いと思う」の質問について「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した方が68.2%となっています。

こころの健康相談センターにおける依存症の相談件数の推移



依存症に対する認識



出典：横浜市「令和6年度依存症に関する市民意識調査結果報告書」（令和7年）

① 行政（こころの健康相談センター等）

- 依存症相談拠点であるこころの健康相談センターと区役所の精神保健福祉相談を中心に、関係機関と連携をしながら相談対応や支援施策を展開しています。

② 身近な支援者

- 本市では、区役所の高齢・障害支援課や生活支援課、精神障害者生活支援センター、基幹相談支援センター、地域ケアプラザなど、依存症の本人等にとって身近な支援者となる様々な機関が活動しています。
- 身近な支援者における相談では、アルコールをはじめとする依存症の問題が含まれることは珍しくない状況にあり、こうした支援者が依存症問題に対する理解と対応力を高め、専門的な支援者との連携を強化していくことが、依存症の予防・早期発見・早期支援に向けて極めて重要と考えられます。

③ 医療機関

- 専門医療機関をはじめとして、依存症の治療等を行う医療機関が複数あり、依存症の治療、合併する精神疾患への対応、障害福祉サービス等と連携した支援などが行われています。

④ 民間支援団体等（回復支援施設・自助グループ等）

- 市内には多くの回復支援施設や自助グループ・家族会等が活動しており、依存症からの回復を目指し、様々なプログラムの実施、あるいは依存症の問題を抱えた人たちや家族等が相互に支え合う取組を進めています。

第1期計画では、基本理念及び基本方針を定め、一次支援・二次支援・三次支援という3つのフェーズごとに2つずつ、各依存症の予防及び回復支援に着目した重点施策を設定しました。

一次支援（予防・普及啓発）

重点施策1：予防のための取組

重点施策2：依存症に関する正しい理解、知識を広めるための普及啓発

【取組の内容と成果】

- 横浜市立の小中学校において、ゲームとつきあう家庭のルールづくりを啓発するチラシの配布や、区役所、地域ケアプラザ等の庁内外の関係機関において依存症関連のリーフレットやチラシの配架・配布を行い、多世代の市民に依存症問題の普及啓発・情報提供を実施しました。
- 公共交通やインターネット等での依存症の理解促進に向けた動画広告の配信や、市民向け講座を開催しました。
- 依存症について身近に情報を得る機会が増え、市民の依存症への認知度が高まりました。また、こころの健康相談センターにおける依存症の相談件数が増加しました。

【計画策定に向けた課題】

- 若年層の市販薬・処方薬への依存やオンラインギャンブルの拡大など、依存症を取り巻く環境が変化しています。

- ゲームやSNS等の依存症は、認知度が比較的低く、また、依存症全体への誤解や偏見も依然として存在します。
- 新たな依存症問題への対応や、啓発動画の内容の見直しなどを通じた理解促進、偏見解消が今後重要です。

二次支援（早期発見・早期支援）

重点施策3：相談につながるための普及啓発

重点施策4：身近な支援者等から依存症支援につなげるための取組

【取組の内容と成果】

- 検索エンジンと連動した広告掲載や、依存症セルフチェックサイトの開設、行政を含む様々な団体や関係機関が一体となり、依存症が疑われる人やその家族等が適切な相談機関につながることを目的としたセミナー等を開催しました。
- 関係機関による連携会議を開催したほか、「依存症支援者向けガイドライン」を作成しました。
- 依存症の本人等が問題に気づき、支援につながりやすくなるとともに、相談を受けた身近な支援者から依存症の治療・回復支援を専門とする機関や団体に適切につなぐ重要性について、各機関が共通認識を持つことができました。

【計画策定に向けた課題】

- 自身の依存症の問題に気づきながらも、適切な支援につながない人が一定数存在するものと推察されます。
- このため、依存症の問題を抱えている人へ届く多様な手法による広報活動の継続や、「依存症支援者向けガイドライン」を活用し、依存症への理解促進と関係機関同士の連携強化を進める必要があります。
- 本人の意向に沿った支援機関等とのマッチングの力を高める取組や回復を支える家族等への支援が必要で

三次支援（回復支援）

重点施策5：専門的な支援者による回復支援の取組

重点施策6：地域で生活しながら、回復を続けることをサポートする取組

【取組の内容と成果】

- 依存症回復プログラムや依存症家族教室、民間支援団体等による相談会等を開催しました。
- 連携会議にて事例検討や回復支援団体の活動内容を共有し、身近な支援者と専門的な支援者間の情報連携の強化を図りました。

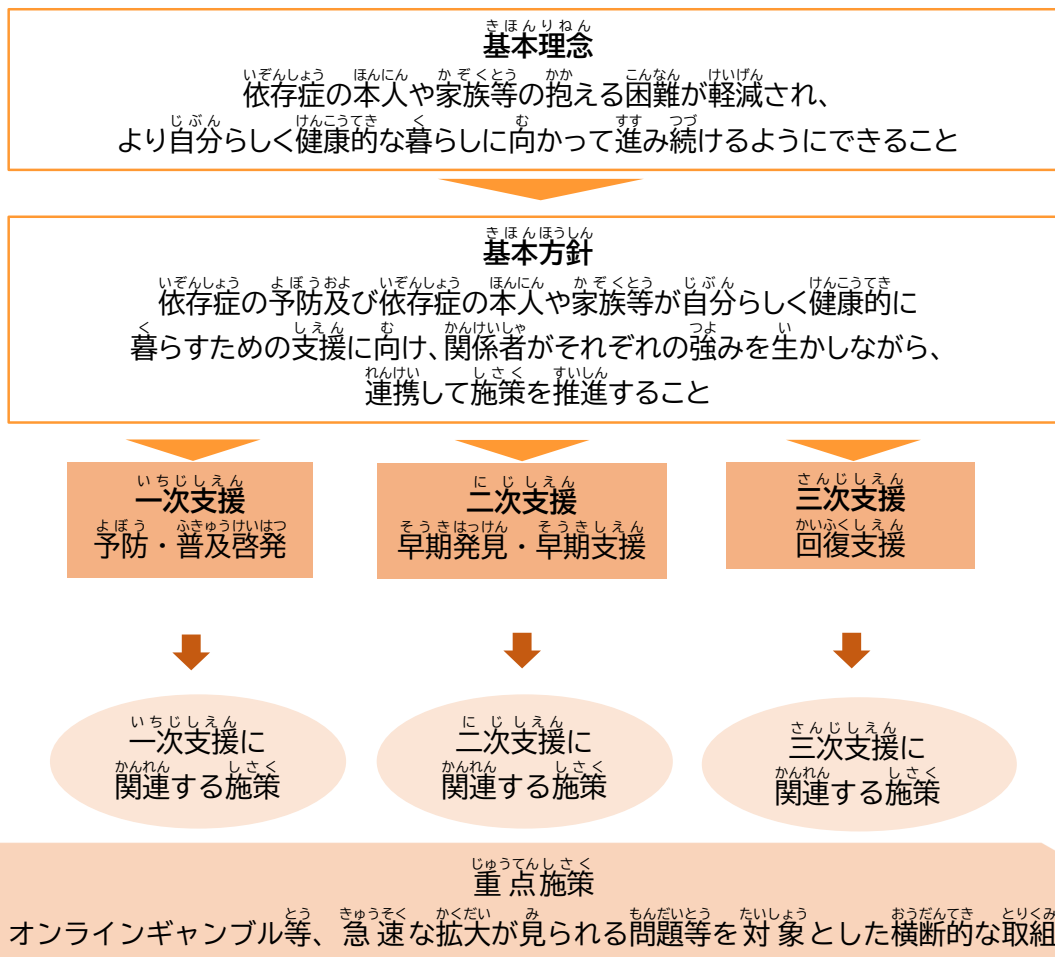
【計画策定に向けた課題】

- 現状の依存症支援に関する連携は、医療・福祉関係者が中心であるため、医療・福祉以外の分野にも広がっていくことが重要です。

1

第2期計画の基本的枠組み

第2期計画の基本的枠組みは、第1期計画を継承します。本計画の基本理念、基本方針等は以下のとおりです。



2 第2期計画のポイント

① 施策体系の見直し

- 第1期計画でアルコール、薬物、ギャンブル等の依存対象別に分類していた施策体系について、施策の対象者をより明確にするため、一次支援を年齢層別に分類し、二次支援及び三次支援を本人・支援者・家族等別に分類しました。

② 重点施策の設定

- 第1期計画の振り返りや市民意識調査の結果から、対応が急務であり、かつ一次支援・二次支援・三次支援の各フェーズにおいて横断的対応が必要な課題への対策として、効果的な施策推進を目的に、重点施策を設定します。

重点施策1	多様化する依存対象への対策	市販薬・処方薬、オンラインギャンブルへの依存等、近年、増加傾向にある依存への対応を通じて、若年層の生きづらさを支援する。
重点施策2	偏見の解消	依存症の本人や家族等が相談し、回復に向けた取り組みが円滑に推進されるよう、依存症の正しい理解の促進と偏見の解消を図る。
重点施策3	連携体制の強化	依存症の多様化や複合化した生活課題への対応が推進されるよう、関係機関同士の連携を強化し重層的な支援体制を構築する。

③ 数値目標を設定した進行管理

- 一次支援・二次支援・三次支援に関する施策について新たに数値目標を設定し、計画全体の進行管理を進めていきます。

④ 第2期計画における新たな取組

- 市販薬・処方薬の過剰摂取による依存やオンラインカジノをはじめとするオンライン上でのギャンブルへの依存に対する普及啓発
- こどもや若者が気軽に悩みを打ち明けて、早期の相談や支援につながるよう、新たにSNSを活用した相談支援を実施
- 依存症に対する偏見や誤解の解消、正しい理解の促進に向けた普及啓発
- こども関連の支援者への依存症に対する正しい理解の促進
- 依存症関連機関連携会議での課題や事例共有などを通じたこども関係部局との連携強化
- 学校や家庭におけるこどもの問題に関わる支援者をサポートするため、「依存症支援者向けガイドライン」を改訂し、こどもに関連する事例を掲載

いちじしえん にじしえん さんじしえん かく
一次支援・二次支援・三次支援の各フェーズにおける取組の方向性は下記のとおりです。

1

一次支援（予防・普及啓発）に係る取組

（1）共通した取組（全世代に向けた取組）

- 依存症の予防と偏見等の解消に向けて、全世代を対象とした普及啓発や相談支援の充実を図ります。
- 専門的な支援者や公営競技の実施団体、関係機関などと連携し、啓発物の配布や、ホームページ・SNS等を活用した情報発信等、様々な方法・機会を通じて依存症に関する正しい知識を伝えていくための取組を進めていきます。

<取組例> 依存症に対する偏見を解消する啓発物の作成・配架・配布／依存症に対する偏見を解消するための、普及啓発イベントの実施

（2）こどもに向けた取組（おおむね18歳未満の方に向けた取組）

- こどもたちが依存症について正しく理解できるよう、ゲーム行動症や市販薬・処方薬、ギャンブル等に関する学校現場での授業や啓発、ホームページでの情報発信などを行います。
- 教職員や保護者、こどもの支援に携わる支援者への研修等を実施し、こどもたちを支える大人の依存症に対する理解促進を図ります。

<取組例> 市販薬・処方薬依存に関する啓発物の作成・配架・配布／小中学生の保護者に対する依存症の予防・正しい理解を促進する啓発物の作成・配信

（3）若者に向けた取組（おおむね18歳から40歳未満の方に向けた取組）

- 若者が依存症について正しく理解し、自ら健康的な生活を選択できるよう、予防と普及啓発に重点を置いた取組を進めます。
- オンラインギャンブルや薬物など多様な依存症への理解促進を目的とした情報発信を行います。
- 大学や地域と連携し、若者を支援する人のスキルアップを図ります。

<取組例> 大学・都市パートナーシップ協議会参加大学等への依存症の予防教育・普及啓発に関する啓発物の作成・提供／オンラインギャンブルの依存に関する正しい知識を促進する啓発物の作成・配架・配布

(4) 中高年・高齢者に向けた取組 (40歳以上の方に向けた取組)

- 中高年・高齢者における依存症の予防に向けて、健康診断や生活習慣改善相談を通じた飲酒や生活習慣病、禁煙などに関する相談や啓発を実施します。
- ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、働く世代のストレス緩和や依存症予防、健康増進などを支援します。
- 健康づくりイベントや情報発信を活用し、中高年・高齢者の依存症予防、こころと体の健康づくりを支援します。

<取組例> 市内で働く人たちの多量飲酒防止に向けて、「よこはま企業健康マガジン」(メール配信)においてアルコール問題に関する記事の配信

2 二次支援(早期発見・早期支援)に係る取組

(1) 本人への取組

- 依存症の本人が、依存症の問題に早期に気づき、支援につなげることができるような様々な取組を推進します。
- 交通広告やインターネット・SNSを活用した情報発信、セミナーの開催、区役所や医療機関等での啓発物の配布などを通じ、依存症の本人が情報を得やすい環境づくりを進めます。
- セルフチェックや相談先の検索ができるWebサイトの整備、借金や法律問題など、依存症に関連する課題の解決にもきめ細やかに対応できる体制を整えます。

<取組例> 交通広告やインターネット・SNSなどを活用した、相談につながる普及啓発の実施／依存症のセルフチェックや自身のニーズに合う相談・支援・医療機関の検索ができるWebサイトの整備／SNSを活用した相談支援の実施

(2) 支援者への取組

- 専門的な支援者や関係機関の連携促進に力を入れていきます。連携会議を通じて情報や課題を共有し、顔の見える関係を構築します。
- 身近な支援者から専門的な支援者への適切なつながりを行うため、研修機会の提供、情報発信等を行います。
- 依存症の早期発見・適切な支援につなぐため、切れ目のない支援体制の構築を目指します。

<取組例> 関係機関の連携と地域における依存症に関する情報や課題の共有を目的とした連携会議の開催／依存症支援者向けガイドラインの改訂／こども関連の支援者の依存症への関心を高めるための情報提供や研修等の開催

(3) 家族等への取組

- 依存症の本人の家族等が、早期に依存症の問題に気づき、適切な支援につなげることができるよう、多様な手段による情報提供を図ります。
- 交通広告やインターネット・SNSを活用した普及啓発、身近な支援者の窓口での相談につながる啓発物の配架・配布などを通じて、家族等への情報発信を強化します。
- 家族等が安心して相談できる環境づくりを推進します。

<取組例> 厚生労働省が定める啓発週間に合わせた、相談勧奨や市民向けセミナーの開催／
依存症の本人や依存症が疑われる人の家族等に対し、相談につながる啓発物の作成・
配架・配布

3 三次支援（回復支援）に係る取組

(1) 本人への取組

- 専門相談や回復プログラムの提供等により、依存症の本人のニーズに応じた支援を実施します。
- 地域の身近な窓口での継続的なフォローや、就労・住まいの確保などのサポートも実施します。保護観察所など関係機関と連携し、社会復帰や自立に向けた環境を整備します。

<取組例> 依存症専門相談による回復に向けた支援の実施／依存症のメカニズムや再発のサイン・
対処法について一緒に考える回復プログラムの実施

(2) 支援者への取組

- 依存症からの回復を支援する専門的な支援者や関係機関が、より効果的かつ継続的な支援が行えるよう、連携の推進に取り組んでいきます。
- 民間支援団体・自助グループへの活動支援、民間支援団体等の職員の人材育成やセルフケアのための研修など、多方面からのサポートを強化します。
- 行政、福祉、医療、法律、教育など多様な関係機関とのネットワークを構築し、切れ目のない地域支援体制を目指します。地域社会全体で回復を支える環境づくりを推進していきます。

<取組例> 専門的な支援者の支援スキルの向上を目指す、研修等の実施

(3) 家族等への取組

- 家族教室などを通じて依存症に関する正しい知識や対応方法を身に付け、回復への理解を深めることができるよう支援を行います。
- 民間支援団体や関係機関と連携し、依存症の本人の家族等のニーズに応じた多様な支援の提供を推進します。

<取組例> 家族等が依存症について学び、対応方法・回復について考える家族教室の実施

「第2期横浜市依存症対策地域支援計画」素案と概要版のPDF版及びテキスト版
を本市ホームページに掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/kokoro/izonsho/izonsyou.html>



コラム

オンラインギャンブルの拡大と 「ギャンブル等依存症対策 基本法」の改正

オンラインギャンブルは、手元に現金
がなくても参加でき、賭け金や借金の額
が従来よりも大きくなりやすい傾向に
あります。

また、スマートフォンアプリなどでの
課金に慣れている若者の中には、オンラ
インギャンブルでお金を賭けることへの
心理的ハードルが低い人も多いと考
えられています。そのため、ギャンブル等
依存症の人の増加や、家族や周囲から
依存症の問題に気付かれにくくなること
が懸念されます。

こうした問題を受け、2025年7月に
改正「ギャンブル等依存症対策基本法」
が公布されました。改正法では、オンライ
ンカジノサイトの開設・運営やSNSなど
を通じてカジノサイトへ誘導する行為が
禁止されました。また、国及び地方公共
団体には、家庭、学校、職場、地域その他
の様々な場での教育及び学習の振興並
びに広報活動等を通じオンラインカジノ
の違法性について周知徹底することが
定められました。

はがきをご利用の場合は、切り取って投函してください。(切手不要)

「第2期横浜市依存症対策地域支援計画」素案 パブリックコメント 意見記入用紙

「第2期横浜市依存症対策地域支援計画」素案に
対するご意見をご記入ください。

- ご意見の種類にチェックをつけてください。
(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 第1章	<input type="checkbox"/> 第2章	<input type="checkbox"/> 第3章
<input type="checkbox"/> 第4章	<input type="checkbox"/> 第5章	<input type="checkbox"/> 素案全体

- ご意見をお書きください。

見本

1

関係主体に期待される役割

- 本計画の推進のためには、関係主体がそれぞれの役割を果たしながら、連携し、一体となって取り組むことが必要です。
- また、個々の団体・機関等ごとに一次支援・二次支援・三次支援の各フェーズにおいて、それぞれの専門性を発揮して支援を行うとともに、自団体・機関が専門とする支援領域以外でも可能な支援・活動のあり方を模索することが重要です。

2

計画の進行管理

- 本計画では、PDCAサイクルの手法を活用し、計画全体の進行管理を行います。
- また、取り組むべき施策に位置付けられている個々の事業の進捗状況を把握・確認し、事業の達成状況の点検・評価、見直しを行います。

関係主体とそれぞれに期待される役割

◆ 依存症関連施策の実施者としての行政

(こころの健康相談センター、健康福祉局
精神保健福祉課、区役所 精神保健福祉
相談)

- ・ 依存症の予防等に向けた施策を展開
- ・ 庁内外の関係機関・団体と連携し施策を展開
…など

◆ 身近な支援者（行政、福祉、一般医療機関、
法律、教育）

- ・ 依存症に関する情報収集、啓発
- ・ 依存症問題への気づきを促し、専門的な支援
につなぎ、依存症の本人が社会生活を送る上
で必要な支援を提供…など

◆ 専門的な医療機関

- ・ 身近な支援者や民間支援団体等と連携し、
依存症の治療を実施
- ・ 支援者のスキル向上…など

◆ 民間支援団体等（回復支援施設、自助グループ・
家族会）

- ・ 団体の特性を生かし、依存症の本人に合った
回復支援を提供
- ・ 身近な支援者等への依存症に関する情報の
啓発…など



料金受取人払郵便

横浜港局
承認

2358

差出有効期間

令和7年

11月30日まで

郵便はがき

231-8790

005

横浜市中央区本町2丁目22番地

京阪横浜ビル10階

横浜市健康福祉局

精神保健福祉課 行



◆よろしければ、あなたの情報をご記入ください。

【性別】（該当するものに○）

男性 ・ 女性 ・ 回答しない

【年代】（該当するものに○）

20歳未満 ・ 20～29歳 ・ 30～39歳 ・
40～49歳 ・ 50～59歳 ・ 60～69歳 ・
70歳以上

「第2期横浜市依存症対策地域支援計画」素案

へのご意見をお寄せください

募集期間：令和7年10月14日(火)から

令和7年11月13日(木)まで

ご意見は、以下のいずれかの方法でお寄せください。

① 電子申請
回答フォーム
(推奨)

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/8e07376d-0d86-4c86-a019-b0ce45535cdb/s tart>



② メール

kf-izon@city.yokohama.lg.jp

③ 郵送

左記はがき（切手不要）

④ FAX

045-662-3525

<ご留意いただきたい点>

いただいたご意見の概要と、それに対する本市の考え方
方をまとめ、後日、ホームページで公表します。ご意見への
個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。なお、
第三者の利益を害する恐れのあるものなど内容により
公表しない場合があります。

ご意見を正確に把握する必要があるため、電話によるご
意見は受け付けておりません。

ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX
番号等の個人情報「個人情報の保護に関する法律」の
規定に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があ
った場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。

よこはまテレビ・プッシュのご案内^{あんない}について

1 趣旨^{しゅし}

テレビを^{つか}使った^{じょうほうでんたつ}情報伝達サービス「よこはまテレビ・プッシュ」について、
^{じょうほうていきょう}情報提供^{しやう}します。

2 サービスの概要^{がいよう}

「よこはまテレビ・プッシュ」を^{せっち}設置すると、ご自宅^{じたく}のテレビで災害^{さいがい}時の緊急^{きんきゅう}
^{じょうほう}情報^うを受け取れます。緊急^{きんきゅう}情報^{じょうほう}（緊急^{きんきゅう}地震^{じしん}速報^{そくほう}など）が^{はつぴよう}発表されると、テレビの^{でんげん}電源^{じどう}を自動^{きどう}で起動^ししてお知らせ^たします。その他^た、降雨^{こうう}アラームや電車^{でんしゃうんこう}運行
^{じょうほう}情報^{ひごろ}などの日頃^{せいかつ}の生活^{やくだ}に役立つ^{じょうほう}情報^{はいしん}も配信^{はいしん}します。

3 補助制度^{ほじよせいど}の概要^{がいよう}

(1) 目的^{もくてき}

テレビを^{つか}使った^{じょうほうでんたつ}情報伝達サービス「よこはまテレビ・プッシュ」に対して、市
が^{ほじよ}補助^{おこな}を行うことで、スマートフォンを^もお持ちでない方^{かた}など災害^{さいがい}情報の
^{しゅとく}取得^{ふあん}に不安^{かん}を感じている方^{かた}も^{かくじつ}確実に災害^{さいがい}情報^{じょうほう}が入手^{しえん}できるように支援^{しえん}を
^{おこな}行います。

(2) 対象者^{たいしやうしゃ}

「横浜^{よこはま}市民^{しみん}」かつ「災害^{さいがい}情報^{じょうほう}の取得^{しゅとく}に不安^{ふあん}を感じている方^{かた}」

(3) 補助額^{ほじよがく}

^{しよきひよう}初期費用^{えん} 28,600円^{ぜいこみ}（税込）

(4) その他費用^{たひよう}

サービス^{りやうりよう}利用料^{げつがく}として、月額^{えん} 550円^{ぜいこみ}（税込）がかかります。

ご利用にはインターネット環境が必要になります。

4 お申込み・資料請求・お問い合わせ

イツツ・コミュニケーションズ株式会社が申込等を受け付けています。

(電話) 03-6670-2114 (受付時間 9:30~18:00 土日祝除く)

(メール) info@itscom.jp

※詳細は別紙「よこはまテレビ・プッシュ」のチラシをご確認ください。

災害情報を テレビに お知らせ

横浜市からお知らせ



横浜市

資料 4 - 2

災害情報の取得に 不安を感じている方のために よこはまテレビ・プッシュ

テレビが自動でオン！



電源オフ

zzz

緊急



よこはまテレビ・プッシュを設置すると...

- ・ ご自宅のテレビで災害時の緊急情報を受け取れます。
- ・ 緊急情報(緊急地震速報など)が発表されると、テレビの電源を自動で起動してお知らせします。
- ・ その他、降雨アラームや電車運行情報などの日頃の生活に役立つ情報も配信します。

横浜市が**初期費用28,600円(税込)**を**全額補助**！
月額550円(税込)で利用できます！

よこはまテレビ・プッシュの補助金について

事業目的 緊急地震速報などの情報が即時かつ的確に届き、迅速な避難行動がとれるようにスマートフォンをお持ちでない方や災害情報の取得に不安を感じている方に支援を行います。

対象者 横浜市民、かつ災害情報の取得に不安を感じている方

補助内容 初期費用28,600円(税込)(専用端末代、設置設定費)を横浜市が全額補助
※補助上限に達し次第終了

※ よこはまテレビ・プッシュはイツツ・コミュニケーションズ株式会社のサービスです。

※ 初期費用とは別に、**毎月550円(税込)**の利用料がかかります。

※ よこはまテレビ・プッシュのご利用には、インターネット環境が必要です。

お申込み・お問い合わせ：
イツツ・コミュニケーションズ株式会社

事業に対するお問い合わせ：
横浜市総務局緊急対策課



☎ 03-6670-2114 (9:30-18:00 土日祝 除く)

☎ 045-671-2143 (9:00-17:00 土日祝 除く)